

答辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、私たちの門出を祝うように桜の蕾も膨らみ始めています。本日は私たちのためにこのように盛大な卒業証書授与式を催していただき、卒業生一同心から感謝申し上げます。また、校長先生をはじめ、ご来賓の皆様、在校生の皆様から温かいご祝辞のお言葉を賜りましたことに重ねて感謝申し上げます。

いざ卒業となると、高校に進学する高揚感に包まれる一方で、中学校を卒業する寂しさが募ってきます。瞬く間に過ぎていった三年間でした。合格発表の日、緊張で胸が押し潰されそうになりながら、画面に自分の番号が映った瞬間、家族と共に涙を流して喜んだことは今でもよく覚えています。進学できる喜びと、未知の世界に飛び込む漠然とした不安を胸に抱きながら、高志中学校に入学しました。まず感じたのは、生徒それぞれの満ち溢れた個性です。刺激的な毎日が私の興味をかきたてました。しかし、授業の進度も内容の濃さも小学校までとは段違いで、平静を装いながらも不安な気持ちが胸の奥を締め付けていました。そんな時、私の心の支えとなったのは先生方でした。難易度が高い授業の時はそれを感じさせない明るさで指導し、質問には丁寧に答えてくださいました。先生方を通して、学ぶことは楽しいと思えるようになり、習慣的な勉強の大切さを身をもって知ることができました。

高志中独自の高志学の授業も私たちを成長させてくれました。仲間との関係が更に深いものとなった嶺南研修や宿泊研修。働くことが具体的にイメージできた職場体験。実行委員が中心となって計画を練り、何度も議論して作り上げた東京研修。ディズニーランドでのみんなのしゃいだ笑顔が忘れられません。福井の課題をテーマにした論文作成では、ふるさと福井の現状・課題を知り、未来のあり方について考える機会を持てたことが非常に大きな財産となりました。そして、グローバルな価値観と知見を深め、三年間の集大成となったシンガポール研修。国際的な視野を広げるとともに、今まで培った英語能力を発揮できるよい機会でした。

高志中学校の素晴らしさは、このような学習面だけではありません。部活動もその一つです。上位大会出場を目指して、春季大会では自己ベストを更新し、万全の状態で挑んだ通信大会。しかし、目標は叶わず、失望感に打ちひしがれていた時、温かく寄り添い、背中を押してくれたのは仲間・先生・家族でした。わからないことだらけの私に部活動の意義を説き、自分に打ち勝つ強さを教えてくださった先輩方、そして先生。いただいたアドバイスは陸上選手としての自分と、人としての自分の両方の成長に繋がり、最後の大会では、北信越大会に出場することができました。私の種目の長距離は、地味でとても苦しい種目ですが、常に試練を与え、精神的に成長させてくれました。切磋琢磨し合える仲間、常に生徒のことを思って行動して下さる先生方、全力で応援してくれる家族。部活動に入って良かったと、ここでもまた高志中学校の素晴らしさを痛感しました。

加えて、学校行事の面でも秀でているのが高志中学校の強みです。初めての学校祭は圧巻の一言でした。二、三年生と学年が上がっていくにつれ、楽しむ側から楽しませる側へと変化し、その中でリーダーを務め、人をまとめることの難しさ、自分達で物事を考えていく大変さを痛感しました。学校祭期間中は様々な壁に直面するばかりでしたが、それを乗り越えることで人として成長することができ、まさに青春を味わえたのだと実感しています。合唱コンクールでは、音楽の授業や放課後の短い時間を通して、クラスで一つの歌を奏でました。一丸となって一つの目標に向かって歩んでゆく姿は、多くの人の心を動かすものになったと思います。最後の合唱コンクールで三年生全クラスが円陣を組み、団結したことは大切な思い出です。このような様々な行事は、八期生として過ごしたかけがえのない証となりました。

私たちが高志中学校で過ごした三年間、世界的にも様々な出来事がありました。ウクライナやガザ地区における紛争、大谷翔平選手の大リーグでの大活躍、北陸新幹線の敦賀までの開業。紛争や貧困の影響で、世界には学校に通うことのできない子どもたちが一億人以上いるといわれています。私たちが安定した環境の中で学べるのは、非常に恵まれたことなのです。学べることに感謝し、次の世代にこの学びのバトンを繋げていくためにも、世界を変えていく努力や工夫も私たちに課せられた学びの一つなのだと思います。また、大谷選手は、大リーグという大舞台で自分の目標を成し遂げ、全世界に勇気を与えました。大谷選手が全国の小学校にグローブを寄付したことは、次の世代への希望のシンボルとなりました。私も大谷選手のように、誰かに希望の種をまけるような人になれるよう努めたいです。昨年、北陸新幹線が開通し、福井は百年に一度の大きな転換期を迎えています。私たちも高志学で学んだふるさと福井への誇りを持ち続け、福井の輝く未来を創造していきたいと思っています。

後輩達には何より「高志中学校に来て良かった」と話している仲間が沢山いることを伝えたいです。私も小学生の時は非常に内向的でしたが、今は自分に自信が持てるようになりました。高志中学校での三年間が、自分を変えてくれる大きな原動力となりました。先進的な学びの機会を与えてくれただけでなく、部活動にも全力で取り組める環境を整え、身体的にも精神的にも成長させてくれました。高志中生としてどうあるべきか、どう行動すべきかを教えてくれました。そのような導きがあったからこそ、充実した三年間を送ることができたのだと思います。また、友との関係は、互いに高め合える大変有意義なものでした。これらのことが大きな自信となり、今の自分を確立させてくれました。これからは高志中生としての矜持を胸に未来を切り拓いていきたいです。

最後になりましたが、三年間私たちの知的好奇心の扉を開き続けてくださった先生方、ありがとうございました。学ぶことの意義について教えてくださり、自分から勉強に向き合うことができたのは先生方のお陰です。保護者の皆様。これからも成長していく私達の姿を一番近くで見守ってください。皆様方のご健闘と高志中学校がこれからも素晴らしい歴史を刻み続けることを祈念して、答辞とさせていただきます。